

2020～2021年度 国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク
2020～2021年度 国際ロータリーのテーマ

福岡東南ロータリークラブ

週報

会長 長谷川 裕一
副会長 津上 賢治
幹事 村瀬 廣記



創立 / 昭和 45年 2月 6日
事務所 / 福岡市博多区住吉1-2-82 グランドハイアット福岡B2
TEL 092 (283) 8878 FAX 092 (283) 8871
E-mail : ftonanrc@fukuoka-serc.org
HP : <http://fukuoka-serc.org>
例会場 / グランドハイアット福岡 TEL 092 (282) 1234
例会日 / 毎週金曜日 12 : 30

ROTRY CONNECTS THE WORLD

■本日の例会プログラム

- ロータリーソング(四つのテスト)
- 会長の時間 ゲスト・ビジター紹介
- 会務報告
- 各委員会報告
- 誕生祝
- 卓話
「イニシエーションスピーチ」
(JR九州グループの経営革新)
会員 本郷 謙君
JR九州リテール(株)代表取締役社長

■次回卓話(9月18日)予定

「米山記念奨学生 挨拶」
米山記念奨学生
アレクサンダー・ジェyson マーク君

■前回例会の記録(9月4日)

◇出席報告 出席委員長

当日	9月4日	前々回	8月21日
会員総数	69名	会員総数	67名
免除会員数(9名中)	4名	免除会員数(10名中)	0名
出席会員数	45名	出席会員数	0名
ゲスト	0名	メイクアップ	0名
ビジター	1名	欠席会員数	0名
合計	50名	合計	0名
出席率	70.31%	修正出席率	0%

会長報告

- ・国際ロータリー第2700地区古賀英次ガバナーより卓上ロータリー旗をいただきました。心より感謝申し上げます。
- ・8月28日に、安倍総理が突然辞任する意向を表明しました。とても残念ですが、次期総理候補の菅官房長官には、安倍総理の政策を引き継ぎ、経済を再生していただきたいと思えます。
- ・会員の皆様には手と手を取り合い、このコロナ禍のピンチをチャンスだと思い、頑張ってほしいです。

幹事報告

- ・8月21日開催の定例理事会報告
- ①今期の予算が承認されました。
- ②白水会員から欠席届が提出され受理されました。
- ③新入会員として、FFG保険サービス/為永様の入会が承認されました。
- ④熊本豪雨災害支援金として、1人1,000円、67,000円分の拠出が承諾されました。
- ⑤コロナ禍での例会取り扱いにつき、7月3日から12月18日まで欠席者のメイクアップは免除となりました。
- ⑥10月に開催予定の宗像国際環境会議につき、当会はネパールプロジェクトを報告します。
- ・本日(9月4日)例会終了後、ザ・グランドボールルームにて定例理事会を開催しますので、理事会メンバーは出席ください。
- ・RI第2700地区古賀英次ガバナーより全会員に男性はネクタイ、女性はスカーフを頂いておりますので、例会終了後配布致します。
- ・9月25日(金)の例会は定款第7条第1節Cにより休会致します。

「基本的教育と識字率向上月間」 「ロータリーの友月間」

4日(金) 定例理事会(例会終了後)
11日(金) 誕生祝
25日(金) 「休会」
定款第7条第1節Cにより

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ピアノ演奏曲

- 誰もいない海 / 内藤 法美
- ムーン・リバー
- 帰れソレントへ / クルティス
- 畏怖・ウィ・ホールド・オン・トゥゲザー

今月の行事

四つのテスト

決算報告

2019~2020年度 会計 熊手幹彦会員

- ・コロナの影響で入会が減っており入会金がマイナス、支出も会食が減っておりマイナス、委員会費も少なくなっています。
- ・ネパールプロジェクトに寄付金が100万、国際奉仕から100万ありました。
- ・ニコニコ箱の収入もマイナスです。50周年の決算が終わり200万戻っていたので、ニコニコの定期積立に。一般会計の余剰は90万で、300万ほどの預金残となっています。

予算報告

2020~2021年度 会計 伊藤桜子会員

- ・8月21日開催の定例理事会にて、今期の予算が承認されました。
- 詳細はお配りした資料をご参照ください。

新会員紹介



・秋庭一郎会員(あきにわいちろう)
株式会社クマヒロ九州支社
取締役支社長
(推薦者 井上正会員)

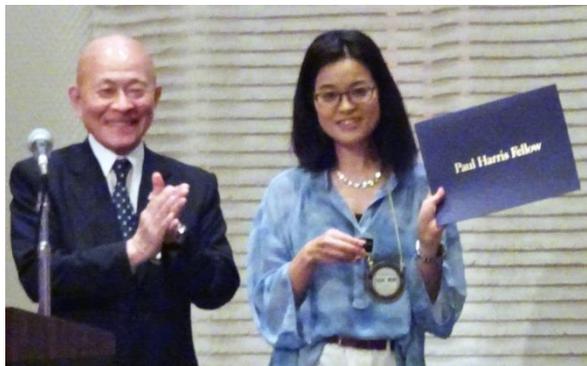


・犬塚雅彦会員(いぬづかまさひこ)
九電ビジネスソリューションズ株式会社
代表取締役社長
(推薦者 長野益徳会員)

各委員会報告

【ロータリー財団委員会/筒丸委員長】

ポール・ハリス・フェロー
河内美香会員より寄付をいただきましたので、会長より感謝状及びピンをお渡し致します。



【職業奉仕委員会 / 土井委員長】

・職業奉仕、ボケーショナル サービスのルーツの話をしします。ボケーションとはボイスと語源が同じであり、神の声という意味です。神の声により職業の啓示を受けると、プロテスタントのピューリタンは信じていたという、転職論のご紹介でした。

【例会運営委員会 / 新納委員長】

・例会をZoomで行えるよう準備しております。また、古賀ガバナーが見えた際の動画を配信しておりますのでご覧ください。最後に、休会が多いのでスマイルボックスの支援をよろしくお願いたします。

卓話

「イニシエーションスピーチ」



(株)博多ステーションビル
代表取締役 長野益徳会員

昭和29年4月 佐賀県三養基郡基山町生まれ
九州大学工学部大学院卒業
昭和54年九州電力入社
昨年7月(株)博多ステーションビル出向
福岡イブニングロータリー2年所属
佐賀ロータリークラブ3年所属

九州電力へ入社後、前半は技術屋として設備関係の仕事後半は事業開発の仕事をしてきました。

技術の仕事には大きく2つ発電と送電とに別れます。私は発電の方を、具体的には水力や原子力の建設をしてきました主な現場として、五家荘で水力発電の建設、玄海3、4号基の建設、小丸川では揚水発電の調査を担当しました。

また宮崎ではダムは運用、保守をしてきました。

まず、設備関係の仕事ですが、川辺川ダムの奥の秘境、五家荘で水力発電の建設をしました。

「合言葉:WATCH WORD」 **“ずっと先まで、お役に立ちたい！”**

「目標:TARGET」 **“奉仕活動のトップランナーになります！”**

この発電所は五家荘の山の奥から水を引っ張り、トンネルを突き抜け、一気に水を流し発電するというものです。14,000キロの発電所です。

九州電力には保有する発電所が全部で1,800万あり、水力が300万くらいあります。その大半が揚水なのですが、このように一般水力も再生エネルギーとして長年使われています。

私が入社した頃、水力の建設が盛んに行われており、運よく携わることができました。五家荘は秘境で紅葉や滝がとても綺麗です。また、壇ノ浦で逃れた平家が大分の武田経由で緒方姓に変え、ここに住みついたという落人伝説があります。一方、左座家という姓の方は、菅原道真の子孫といわれています。平家の落人より200年前より住んでいたとされ、左座家は48代、緒方家は37代の家系図が残っています。その旧家は今は見学施設として保存していますが、40年前には民宿を経営しており、山女や猪料理をいただいた思い出があります。

話は変わりますが、実は以前川辺川ダムの建設が進んでいました。が、諸事情により中止になりました。もしこのダムが完成していたら、先日の熊本豪雨の流量の4割カットできたのではないかとこの予想を新聞で見て、感慨深く思いました。

今動いています玄海3、4号基は1994年から1997年に運開しました。私は1990年から1992年に基礎の工事に携わりました。順調に運行し何よりだと思っています。その後、小丸川の揚水発電所の調査に携わりました。揚水発電所は蓄電池の代理として夜間電力を蓄積し昼間に利用するというのが当初の目的でした。が、太陽光の普及が進み昼の需要を超え発電されるようになり、今では夜に昼の余剰電力を利用するという逆の使用に変わりました。

技術屋として最後にタッチしたのが、宮崎の一ツ瀬ダムの運用、保守です。九州で一番大きなダムです。ここではダム水路主任技術者に任命され、台風の時期には徹夜で作業しました。ここは濁水が問題になっており、選択取水設備の運用を取り入れました。

後半ですが、2000年に電気の部分自由化が始まりました。2000キロワット以上の大口の方は契約が自由になりました。その際、兼業規制も撤廃され、新規事業の担当になりました。当時の松尾社長からは「電気を売る会社から電気も売る会社になる」と激励されました。そこで新規事業支援育成制度を作り、グループ会社からアイデアを募集し、それを基に新規事業を立ち上げました。蛍光管リサイクル事業、住宅性能評価事業、機密文書事業、キューデン・グッドライフなどの高齢者住宅事業、ISO審査登録、MIR・CT診断クリニックなど色々な事業を立ち上げました。また、塩の製造販売もしており年間200トン供給しています。その中でも思い出深いのは北九州のエコタウンで行っていた、蛍光管のリサイクル事業です。蛍光管の中に入っている微量の水銀を、ガラスと分別しリサイクルするという事業でした。が、昨年度末撤退しました。というのも、蛍光灯が下火になりLEDの時代になったからです。次に機密文書のリサイクル事業を立ち上げました。それまでシュレッダーにかけたり燃やしたりしていた密文書を、鍵付きの袋で回収しリサイクルするという事業でした。この会社の社長を2年務めました。

次に、有料老人ホーム事業の話です。九州各県に順番に作り統括するためホールディングス化し社長を務めました。が、2011年の東日本大震災それに伴う東京電力の福島原子力発電所の事故により経営環境が変化し、その後の展開ができず現在は4施設を運営しております。4施設とも満室と聞いています

最後に塩の製造販売事業の話です。塩も昔は専売でしたが、自由化になり色々な商品が販売されるようになりました。九州電力も熱源を持っており、その蒸気を利用し塩を作ることになりました。

スタート時は年間100トン作っていました。製品としては一流なのですが、価格が高いためなかなか売れずに苦労しました。そこで、石村萬盛堂の石村社長に塩豆大福に使っていただけないかとお願いにあがり、了承していただきました。そこから徐々に業務用として生産量を伸ばしていき、200トンにまでなりました。

また、太宰府天満宮に祭事で使用する塩を寄付しています。一部を奉納し、献上岩塩として太宰府の参道にて販売しています。

その後、東日本大震災による福島原子力発電所の事故により事業環境が変化したころ、佐賀支社長に異動になりました。

その頃発電所が次々と停止し原子力に対する疑念が起こり、それに対する理解活動に奮闘していました。

結果、2015年に再開することができました。また、佐賀では日本酒が非常に美味しく、県や議会が一体となり推奨していることを知りました。

そこで全国初のことでしたが、日本酒で乾杯を推奨する条例を県議会で決めました。

佐賀の会合ではビールではなく日本酒で乾杯するというのが通例となっています。佐賀の日本酒作りは鍋島直正公が余剰米と農閑期の労働力を使うために始めたそうですが、明治の始めには数百の酒蔵があったそうです。佐賀では世代交代が上手くいっており、若社長が自ら杜氏をし、切磋琢磨して頑張っているようです。またIWC日本酒部門で「鍋島」が金賞を取り、ブームを起こしました。県も認定酒を作り推進しています。「鍋島」は外せませんが、「能古見」という鹿島のお酒もお勧めです。また、私の出身基山の「基峰鶴」というお酒も美味しいので、是非一度ご賞味ください。宜しくお願ひ致します。

それでは、ご清聴ありがとうございました。

<例会運営委員会>

※スマイル箱の報告は、時間の都合により次週発表させていただきます。

スマイル箱目標額	1,300,000円
合計	17,000円
累計85,000円(7/17)	達成率 6.5%

「合言葉:WATCH WORD」 **“ずっと先まで、お役に立ちたい！”**

「目標:TARGET」 **“奉仕活動のトップランナーになります！”**

A・C・D・Eテーブル会

7月29日(水)「てら岡中洲本店」にて、「A・C・D・Eテーブル会を開催しました。てら岡の山隈料理長から、「飲食業界はとても厳しい状態です。お店では、テーブルごとに飛沫防止の亚克力板をご用意し、万全な体制でお客様をお迎えしています。」との説明を受け、美味しい食事とお酒を頂きました。とても楽しい時間をありがとうございました。

Dテーブルマスター 畑中敬史



B・Gテーブル会

8月24日大名の「梨花苑」でB・G合同テーブル会を開催しました。長谷川会長・村瀬幹事、佐々木直前会長、中村副幹事にも参加していただき、長野さんが持ち込んでくれた「鍋島」は美味しかったので、長谷川会長と浅野さんで奪い合になるほどでした。「うまい肉を食らってコロナをぶっ飛ばそう。」ということで、ガンガン飲みました。聞くところによるといろいろなテナントのうちで、焼き肉屋ほど換気に金をかけている所はないそうです。口からの飛沫など、テーブルに仕掛けられた吸気口から煙とともに、一気に外に排出されるそうです。酔った勢いで近くの小料理屋に引っ掛かり、二次会をしてお開きとなりました。アルコール消毒の一日でした。参加のみなさん有難うございました。(B・Gマスター浅野会員 熊手会員)



「合言葉:WATCH WORD」 **“ずっと先まで、お役に立ちたい！”**

「目標:TARGET」 **“奉仕活動のトップランナーになります！”**